

～子どもと向き合う時間の確保のために～  
**学校改革プロジェクト支援事業について（第2報）**

「教育くまもと No65」で掲載後の進捗状況のお知らせです

**7月 学校改革支援チームによる学校訪問**

【各モデル校でワークショップによる教職員の意見やアイデアの整理】

【教職員の意識実態調査の実施（第1回）】

**8月 研修会（講演会）、学校改革プランの作成の個別相談**

【西留安雄先生の講演】【モデル校と担当指導主事の打合せ】

**学校改革プランの作成**



ワークショップの様子

※学校改革支援チーム…モデル校を支援するために教育政策課・県立教育センターの職員で構成された組織

**9月～ 学校改革プランの実行**

**第1回中間報告会（12月17日：県庁地下大会議室）**

学校改革の取組開始から3ヶ月余ですが、これまでの成果と課題について、モデル校から報告がありました。その一部を紹介します。

**【成果】**

- ・職員朝会の削減 ⇒ SHRや1限目までのゆとりができた。
- ・週1回のNO部活動DAY ⇒ 教材研究や校務分掌の業務を効率的にできるようになった。
- ・指導案の簡略化 ⇒ 授業の内容等の検討に時間を費やすことができるようになった。
- ・少人数、TTの時数増加 ⇒ 個に応じた指導の充実してきた。
- ・職員室にソファ（リフレッシュスペース）の設置 ⇒ 打合せや児童対応に有効活用している。
- ・日課表の見直し ⇒ 児童への個別指導、面談の時間が増加した。
- ・校内研修のワークショップ形式での実施 ⇒ 研修時間の短縮化が実現できた。
- ・部活動担当を週3回から1回の削減 ⇒ 負担軽減が図られた。



第1回中間報告会

**【課題】**

- ・授業改革に取り組む意識に教職員の意識の差がある。
- ・地域への協力要請については、地域の方々に参加協力の意識を高める啓発等が必要である。
- ・更なる担任業務の軽減を図りたいが、現実的には難しい部分もあり、長期的計画が必要。
- ・学習規律の定着のため授業の複数指導体制と整えたいが、現状の人員では難しい。
- ・年度途中からの開始は難しい取組もあった。年度当初にスタートさせるべき取組もある。
- ・職員朝会を夕会としたが、内容を精選しないと時間を超過してしまう。
- ・学校改革が軌道にのるまでの負担が大きい。



※学校改革プランの内容、これまでの成果、今後の課題等を掲載しているモデル校の学校改革プラン進行管理シートは、県教育委員会ホームページでご覧になれます。



[http://kyouiku.higo.ed.jp/page/pub/default.phtml?p\\_id=5266](http://kyouiku.higo.ed.jp/page/pub/default.phtml?p_id=5266)

中間報告におけるモデル校の成果や課題の傾向

●校務改革では、会議、研修等の削減や見直しにより、子どもと向き合う時間が生み出されている。生み出した時間の使い方については、有効活用できている学校とこれからの課題としている学校と様々である。

●授業改革では、時間がかかる取組が多く、今後も継続して実施し、モデル校の2年目に具体的に実践する学校が多い。

●学校改革は、様々な改革メニューで構成されるが、最も重要なことは、改革取組における職員の意識統一や共通理解であると分析されている学校が多い。素晴らしい改革でも職員が一丸とならない限り、成功しないと感じられているようです。

あるモデル校の校長先生は、『「学校改革」は「意識改革」である』と職員に伝えられていました。

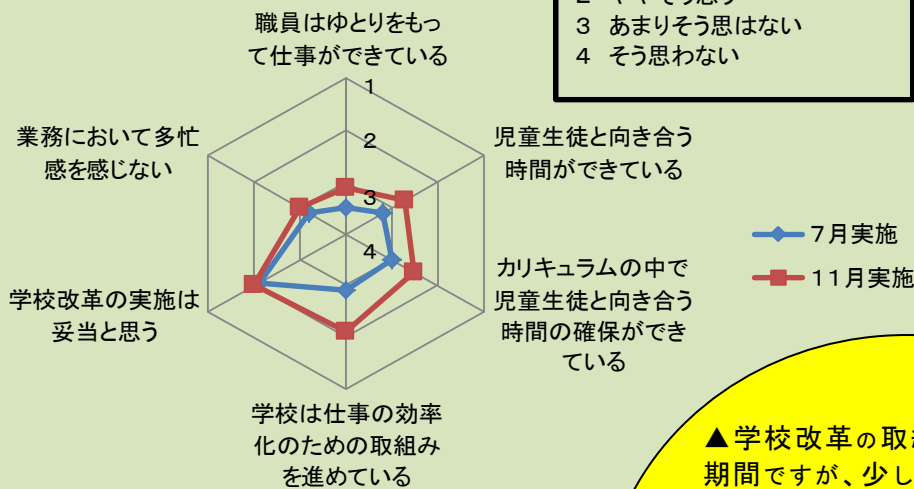
今さらですが、決まったことは**職員全員で取り組むことが成功の力**のようです。

モデル校職員の意識・実態調査の分析

●学校改革の実施に伴い、モデル校の職員の意識や実態の効果を検証するために取組前の7月と取組後の11月にアンケート調査を実施。

その中で効果が大きい結果を掲載しています。

モデル校職員の意識調査結果



▲学校改革の取組開始から短い期間ですが、少しずつ効果が出ているようです。  
 ▲皆さんの学校でも、すぐにやれる改革から取り組んでみませんか。  
 ▲2月18日(火)に第2回中間報告会を県立教育センターで実施します。ぜひ、ご参加ください。詳しくは各学校にご案内します。

子どもと向き合う時間について(1週間当たり)

【個別学習指導】を行う時間はどのくらいですか？

7月調査 → 11月調査  
 71分 → 76分 (+5分)

【個別面談】を行う時間はどのくらいですか？

7月調査 → 11月調査  
 48分 → 62分 (+14分)

【観察】を行う時間はどのくらいですか？

7月調査 → 11月調査  
 146分 → 197分 (+51分)

お問い合わせ先  
 教育政策課 学校改革 PT  
 担当者 森田、徳田、森  
 TEL 096-333-2673  
 Mail tokumei-pt@pref.kumamoto.lg.jp